

# 5GHz～6GHzの無線増幅機(送信機専用)

(NR-RFPA35S Ver 7.2)

関連製品 : NR-AV58LTM (5.8GHz ビデオ&オーディオ送信機モジュール)  
NR-AV58LTU (5.8GHz ビデオ&オーディオ送信機ユニット)



・ 5GHz～6GHzの無線増幅機(送信機専用)

\*この無線送信機用増幅機(5GHz～6GHz)は、2.5W～3Wのハイパワー無線送信用アンプです。

\*微弱電波または小出力送信機の出力で長距離通信が不可能な場合、アンプを利用して、長距離通信が可能です。

(周波数と入力無線電力、電源電圧に応じて増幅度が変動します。)

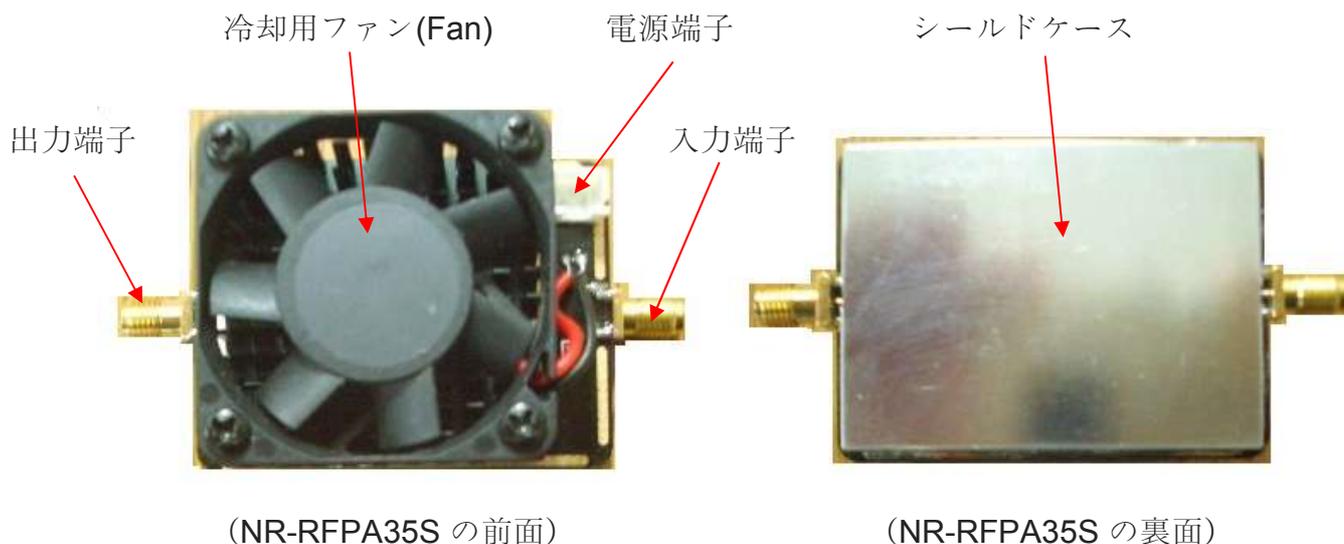
- 特徴 -

- ☞無線送信機用 RF アンプを使用することにより、長距離無線通信が可能です。
- ☞送信電力が微弱な送信機(Transmitter)に使用が可能です。
- ☞放熱構造(Fan)PCB 形態を採用して発熱の誤作動が少ない。
- ☞入力/出力に高周波特性の良い SMA コネクタを使用して信号の損失が少ない。
- ☞アンプ専用の RF コンポーネントを使用して不要電波がほとんど少なく増幅度が高くなります。

- 用途 -

- ☞小出力送信機の出力増幅用に使用可能。
- ☞通信機器の通達距離が短い場合に、使用してください(長距離通信)

・ 5GHz～6GHz の無線増幅機の外形。



- 。電源端子 : 無線アンプの電源(DC12V)入力端子。(最大入力電力 DC16V)
  - 。入力端子 : 無線信号(5GHz～6GHz)を入力。(最大入力 500mW 以下)
  - 。出力端子 : 増幅された無線信号の出力端子
- (周波数と入力無線電力、電源電圧に応じて増幅度が変動します。)

・ 5GHz～6GHz の無線増幅機の仕様.

仕様	内訳
入力電圧	DC12V (Max16V)
消費電流	1A 前後 (周波数と入力無線電力、電源電圧に応じて変動します。)
入力信号	最大500mW (27dBm) 以下。
出力信号	Max 2.5W~3W (周波数と入力無線電力、電源電圧に応じて変動します。)
入力/出力コネクタ	SMA F-Mail
放熱方式	放熱ファン(Fan)
サイズ	54mm X41mm X28.5mm

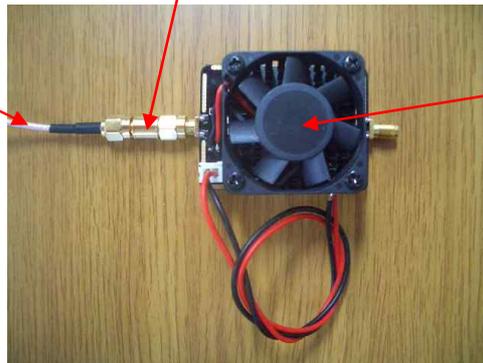
・ 5GHz～6GHz の無線増幅機の外観と使用例。



。 高出力の無線機器製品の5GHz～6GHzの無線アンプの使用方法的例。

別売のPN-CABLE-SMAPXSMAPケーブル

別売のPN-ATTシリーズ信号減衰器



NR-RFPA35S増幅機

。 増幅機 (NR-RFPA35S) の入力信号は、最大 500mW (27dBm) 以下で入力する必要がありますので、高出力の信号を入力した場合には、信号減衰器 (ATT) を使用して接続します。  
(アンプに過度の入力信号が加わると不良や故障の原因になることがあります。)



。 別売のSMAコネクタタイプ信号減衰器  
PN-ATTシリーズ (PN-ATT01～PN-ATT30)

。 入力された信号のサイズに合わせて減衰器の容量を選定してください

(PN-ATT01～PN-ATT30の製品の中で選択して使用可能です。)

( 本製品は、高出力の無線通信製品として、次のような点に注意してください )

1. アンテナは必ず接続している状態で送信してください。
2. 電源はすべての接続状態が正常な状態で供給してください。
3. 送信になると高出力の電波により近接された制御回路と電源装置、その他の周辺機器に損傷を与え、誤動作や接続製品が破損することがあります。  
アンテナやアンプは必ず制御回路と電源装置その他の周辺機器から離れた状態でテストしてください。  
(制御装置と電源装置が近接された状態で使用時にはシールドやアンテナ延長ケーブルを活用して、アンテナからの高電力電波が直接影響を与えないようにしてください。)
4. 電源装置は電流容量が十分な電源を使用してください。
5. 電源装置は可能な限りアナログタイプの電源装置を推奨しており、スイッチング方式の電源装置を使用する場合には、ノイズの少ない電源装置を使用してください。
6. 入力電源(電圧)に応じて増幅度が異なりますので使用用途に合わせて電源(電圧)を入力してください。
7. 入力無線電力に基づいて送信電波の出力が変動されるので使用用途に合わせて入力してください。
8. 送信時間と入力電力は入力電圧に応じて増幅度が異なりまた、熱が発生する可能性があります。  
熱が発生した場合には製品の誤動作や破損の原因となりますのでファンや放熱ユニットを使用してください。
9. 本製品は高出力の製品として使用するためには、使用する国または関連機関の許可(認証)が必要な場合があります、完成品で製作/販売時には、必ず承認(認証)を確認してください。

**\*\*\*\*\* 参照および注意(確認)事項 \*\*\*\*\***

- ・ ご使用の前に、取扱説明書の記載内容を十分に検討と確認した後、ご使用してください。
- ・ 本製品(部品)を他の機器と接続してご使用の場合、接続される各機器の特性を確認した後、ご使用してください。
- ・ 本製品(部品)は、使用環境やユーザーの使用方法や他の接続装置との接続状態に応じて、記載されたパフォーマンスと機能が異なる場合または誤動作や動作不能が発生することがあります。
- ・ 本製品(部品)が、無線(RF)送信製品の場合は、無線の出力強度を低出力(LOW-Power)でテストの後、高出力による製品(部品)が破損または誤作動がないように遮蔽(シールド)またはアンテナ延長ケーブルなどで影響を受けないようにしてください。
- ・ 無線(RF)の送信/受信製品の場合、外部電源装置またはスイッチングアダプタその他 AC/DCコンバータなどの電源を使用する場合、電源装置からのノイズ音(試験)などが無線(RF)送信/受信機に混入されて送信/受信時のノイズが聞こえないようにしてください。
- ・ 本製品(部品)が、無線(RF)送信/受信製品の場合、無線通信のセキュリティ性がないため、通信のセキュリティに反する内容の通信を禁止し、機器相互間渾身の可能性があります。
- ・ 本製品(部品)のハードウェア、ソフトウェア、その他の関連機能は、性能向上のため予告なく変更することがありますので、ホームページ ([www.logiccamp.co.kr](http://www.logiccamp.co.kr)) から最新の使用説明書と資料を参照してください。
- ・ 販売されている製品(部品)に基づいて同梱の必要がある関連資料は、直接同梱またはご注文のお客様のメール(E-Mail)で送信(発送)していただきます。
- ・ 本製品(部品)を活用して、構造/性能の変更または完成品として製作/販売する場合には、製品(部品)または完成品に応じて、使用(販売)する国または地域に応じて承認(認証)が必要な場合があり、このような場合には、必ず承認(認証)を受けて使用(販売)してください。
- ・ 本製品(部品)を他の回路との接続して発生するすべての責任はユーザーにあり、接続機器の誤動作や破損その他の損害賠償については、開発会社、製造会社、販売店に責任がないことをお知らせ申し上げ、本回路を使用した場合には、本内容について使用者が確認した後に同意したものでされます。

\* 使用方法または参照資料はホームページ([www.logiccamp.co.kr/index\\_jan.php](http://www.logiccamp.co.kr/index_jan.php))からダウンロード可能です。